

2022 年度全国がん検診従事者研修（実務）

○概要

開催期間：2022年9月20日（火）～12月15日（木）

開催方式：eラーニング（教育研修管理システム <https://learning.ganjoho.jp/rpv/>）

目的：がん検診の基礎知識を踏まえ、精度管理を実践するうえで必要な知識や技術の習得を目指す

受講対象：住民検診に携わるとがん検診従事者（都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等）

申込条件等の詳細はがん情報サービスをご参照ください。

https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening2/2022.html

事務局：国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部 検診実施管理支援室

○プログラム

講義名	内容	講義時間	講師
1. 全国がん検診従事者研修（実務）			
第1章 がん検診の有効性評価	科学的根拠に基づくがん検診の実施について（がん検診ガイドライン作成、国の推奨までの流れ等）	15分	中山富雄 （国立がん研究センター）
第2章 がん検診の精度管理	精度管理総論、手法（概要、市区町村・都道府県における管理、プロセス指標の解釈）、課題（個別検診の精度管理）	前半：35分 後半：25分	斎藤 博 （青森県立中央病院）
第3章 がん検診の要点※		-	-
(1) 胃がん検診の要点	推奨するがん検診、検診の流れ、精度管理（検診機関チェックリスト、地域保健・健康増進事業報告のポイント、プロセス指標）等について部位ごとの状況に合わせた内容	34分	加藤勝章 （宮城県対がん協会）
(2) 大腸がん検診の要点		27分	松田一夫 （福井県健康管理協会）
(3) 肺がん検診の要点		前半：22分 後半：32分	佐川元保 （東北医科薬科大学）
(4) 乳がん検診の要点		35分	笠原善郎 （福井県済生会病院）
(5) 子宮頸がん検診の要点		20分	森定 徹 （杏林大学）
2. トピック※			
(1) 新型コロナウイルス感染症によるがん検診への影響	各種データによる受診者数、罹患患者数等の推移	14分	高橋宏和 （国立がん研究センター）
(2) がん検診に関する情報提供の取組（東京都の事例：TOKYO#女子けんこう部）	東京都におけるがん検診用資材の作成と提供・活用について	14分	齊藤英子 （国際医療福祉大学三田病院）

※ 全国がん検診指導者研修（10月開催予定）と同じ講義内容です。

○問い合わせ先

- eラーニングの操作方法等、教育研修管理システムに関する問い合わせ
国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）
TEL:0422-24-6818（平日 10:00～12:00、13:00～16:00）
[お問い合わせフォーム](#)（クリックするとお問い合わせフォームが開きます。）

- 研修内容に関する問い合わせ（メールでお送りください。）
国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部 検診実施管理支援室（伊藤、松田）
E-mail：seminar-scr@ncc.go.jp